2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社ハーバー研究所　　上場取引所　東
コード番号　　4925　　ＵＲＬ　https://haba.com
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）西　幹男
問合せ先責任者　（役職名）取締役財務・経理部担当　（氏名）高崎　明彦　　ＴＥＬ　03-5296-6250
半期報告書提出予定日　2026年11月16日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	5,210	△6.1	28	△88.9	26	△89.4	5	△97.2
2026年３月期中間期	5,550	1.7	257	－	252	－	187	－

（注）包括利益　2027年３月期中間期　5百万円（△97.2%）　2026年３月期中間期　187百万円（－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	1.38	－
2026年３月期中間期	49.71	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	11,758	9,390	79.9
2026年３月期	12,519	9,536	76.2

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　9,390百万円　2026年３月期　9,536百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	40.00	40.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	40.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,800	5.4	610	△16.1	600	△15.3	470	△38.2	124.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規　－社　（社名）－、除外　1社　（社名）ハーバーコスメティクス株式会社

（注）詳細は、添付資料10ページ「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（当中間連結会計期間における連結範囲の重要な変更に関する注記）」をご覧ください。

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料10ページ「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	3,935,000株	2026年３月期	3,935,000株
② 期末自己株式数	2027年３月期中間期	153,520株	2026年３月期	153,520株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	3,781,480株	2026年３月期中間期	3,781,480株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料４ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 10
（中間連結損益計算書に関する注記） …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（当中間連結会計期間における連結範囲の重要な変更に関する注記） …… 10
（企業結合等関係） …… 11

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇の長期化による消費者の節約志向や原材料・物流コストの高止まりに加え、海外における地政学的リスクの影響などもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは、第２次中期経営計画の２年目として、「人的資本の強化」「収益構造の改善」「製品開発の強化」「顧客接点の拡大」を重点施策に掲げ、持続的な成長と企業価値向上に向けた各種施策を推進してまいりました。

当中間連結会計期間の当社グループ連結売上高は、5,210,721千円（前年同期比6.1%減）となりました。販売ルート別売上では、主力事業である通信販売事業（ＥＣを含む）において、新規顧客の獲得が伸び悩み、稼働顧客数の減少が続いたことなどから、売上高は2,958,456千円（同3.9%減）となりました。

店舗販売事業（百貨店向卸売・直営店）では、一部地域における地震や台風、集中豪雨等の自然災害に伴う来店機会の減少に加え、訪日中国人客による購買の減少等が影響し、百貨店向卸売は719,388千円（前年同期比7.4%減）、直営店は144,209千円（同38.3%減）となり、店舗販売事業全体では863,598千円（同14.6%減）となりました。その他卸売事業（国内卸売事業・海外卸売事業）では、国内一般流通向けの新ブランド及び専売商品の販売が堅調に推移したものの、海外販売において、中国市場の景気低迷による販売の伸び悩みや、一部地域での販売代理店の変更に伴う販売空白期間の発生等が影響し、売上高は1,388,608千円（同5.0%減）となりました。

品目別売上では、基礎化粧品は3,262,102千円（前年同期比5.3%減）、メイクアップ化粧品は442,016千円（同5.8%減）、トイレタリーは284,947千円（同4.1%減）となり、化粧品全体では4,105,133千円（同6.1%減）となりました。また、健康食品・雑貨等は1,105,529千円（同6.1%減）となりました。

利益面につきましては、人件費や広告宣伝費、販売促進費の効率的な運用に努め、販売費及び一般管理費の削減を進めたものの、売上高の減少に加え、原材料価格や生産コスト、輸送費等の上昇に伴う売上原価率の上昇が影響し、営業利益が減少いたしました。

この結果売上原価は、1,805,377千円（前年同期比2.2%減）となりました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝・販売促進費が1,086,886千円（同3.6%減）、その他経費が2,289,942千円（同1.3%減）、合計で3,376,329千円（同2.0%減）となりました。

また、営業利益は28,514千円（前年同期比88.9%減）、経常利益は26,771千円（同89.4%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は5,221千円（同97.2%減）となっております。

一方、第２次中期経営計画に基づく各種施策については、人的資本の強化に向け、2026年４月より執行役員制度を導入し、経営の意思決定の迅速化及び業務執行機能の強化を図るとともに、販売職の人事制度の見直し等を進め、組織力の強化及び人材の育成に取り組みました。

収益構造の改善においては、2026年４月に物流子会社を吸収合併し、物流から販売に至る業務運営の効率化を推進するとともに、不採算店舗の見直しや在庫管理の適正化、販売鈍化商品の整理等を進めました。また、メイクアップ商品を中心とした商品構成（ＳＫＵ）の最適化に取り組むとともに、広告宣伝費及び販売促進費の効率的な運用を図りました。通信販売事業では、広告投資の選択と集中を進める中、数量限定商品「ラベンダースクワラン」において、インフルエンサーの活用やランディングページの改善等による新規顧客獲得施策を展開いたしました。

製品開発の強化においては、お客さまの肌悩みに応じた商品選びを可能とするため、従来の商品機能別の構成から肌悩み別のスキンケアラインへの再編を進め、その第一弾として、2026年９月に乾燥ケアライン「Moist Plus（モイスト プラス）」をリニューアル発売いたしました。同ラインでは、高保湿美容液「ディープモイストセラム」やジェルクリーム「モイスチャーエッセンスリッチジェル」等の処方を見直し、商品の機能性及び付加価値の向上を図るとともに、既存顧客の継続購入及び新規顧客の獲得に向けた商品力の強化に取り組みました。

顧客接点の拡大においては、2026年８月に一般流通向けの新たなヘアケアブランド「SURUtto（スルッと）」を立ち上げ、全国のバラエティショップ等で販売を開始いたしました。同ブランドでは、30～40代のミレニアル世代を中心とした新たな顧客層への認知拡大を目的として、キャラクター「貞子」を起用したＷｅｂＣＭの公開やＳＮＳを活用した情報発信を行うなど、一般流通チャネルにおけるブランド認知度の向上及び販路の拡大に取り組みました。また、「Moist Plus」のリニューアルに合わせ、「モイスチャーエッセンスリッチジェル」のＷｅｂＣＭ公開やキャンペーン特設サイトの開設等を通じ、既存顧客との関係強化及び新規顧客との接点拡大を図りました。

当社グループは、引き続き、既存事業の収益性改善及び経営基盤の強化を進めるとともに、主力スキンケア商品の刷新や新ブランドの育成、デジタルマーケティングの強化等を通じ、新規顧客の獲得及び継続購入の促進に取り組み、持続的な成長と収益力の向上を目指してまいります。

品目別売上　（単位：千円）

区分		前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）		当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
			%		%		%
化粧品	基礎化粧品	3,442,908	62.0	3,262,102	62.6	△180,806	△5.3
	メイクアップ化粧品	469,085	8.5	442,016	8.5	△27,069	△5.8
	トイレタリー	296,987	5.4	284,947	5.5	△12,040	△4.1
	その他（注）１	163,762	2.9	116,067	2.2	△47,695	△29.1
	小計	4,372,745	78.8	4,105,133	78.8	△267,611	△6.1
健康食品・雑貨等		1,177,627	21.2	1,105,529	21.2	△72,098	△6.1
化粧品・健康食品等 小計		5,550,373	100.0	5,210,663	100.0	△339,710	△6.1
その他（注）２		421	0.0	58	0.0	△363	△86.2
合計		5,550,795	100.0	5,210,721	100.0	△340,073	△6.1

（注）１．期間を限定して提供するキャンペーンセット品等が主なものです。
２．美容セミナー等の売上が主なものです。

販売ルート別売上　（単位：千円）

区分		前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）		当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
			%		%		%
販　売　ルート	通信販売（ＥＣ含む）	3,077,061	55.4	2,958,456	56.8	△118,604	△3.9
	百貨店向卸売	777,288	14.0	719,388	13.8	△57,899	△7.4
	その他卸売	1,462,422	26.4	1,388,608	26.6	△73,813	△5.0
	直営店	233,601	4.2	144,209	2.8	△89,391	△38.3
	合計	5,550,373	100.0	5,210,663	100.0	△339,710	△6.1

（注）上記の合計表は、「品目別売上」の「その他（注）２」を除いた「化粧品・健康食品等　小計」売上に対して記載しています。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比較して785,202千円減少し、8,994,890千円となりました。これは主に、棚卸資産が増加したものの現金及び預金、売掛金が減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比較して24,014千円増加し、2,763,257千円となりました。これは主に、ソフトウエア仮勘定が増加したことによるものです。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比較して417,291千円減少し、1,928,735千円となりました。これは主に、買掛金が増加したものの、短期借入金、未払金及び未払消費税等が減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比較して197,859千円減少し、439,233千円となりました。これは主に、長期借入金が返済により減少したことによるものです。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比較して146,038千円減少し、9,390,178千円となりました。これは、利益剰余金が減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）は、前連結会計年度末に比較して914,029千円減少し、4,770,477千円になりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、228,038千円の支出（前年同期は245,830千円の収入）となりました。これは主に、棚卸資産の増加382,296千円及び未払債務の減少171,885千円が資金の減少要因となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、181,643千円の支出（前年同期は38,811千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出122,497千円、無形固定資産の取得による支出63,041千円、差入保証金の回収による収入4,216千円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、504,347千円の支出（前年同期は567,652千円の支出）となりました。これは短期借入金の純増減額の減少が100,000千円、長期借入金の返済による支出253,204千円及び配当金の支払額151,143千円によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の業績予想につきましては、2026年５月11日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,784,507	4,870,477
売掛金	1,264,824	939,060
商品及び製品	1,367,373	1,527,146
仕掛品	23,798	101,346
原材料及び貯蔵品	1,179,678	1,324,654
その他	171,252	241,476
貸倒引当金	△11,342	△9,271
流動資産合計	9,780,093	8,994,890
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,039,451	4,049,417
減価償却累計額	△2,850,384	△2,894,640
建物及び構築物（純額）	1,189,067	1,154,777
機械装置及び運搬具	1,524,458	1,556,154
減価償却累計額	△1,452,750	△1,464,722
機械装置及び運搬具（純額）	71,708	91,432
工具、器具及び備品	826,413	855,964
減価償却累計額	△778,448	△782,742
工具、器具及び備品（純額）	47,965	73,222
土地	1,064,047	1,064,047
建設仮勘定	2,035	2,035
有形固定資産合計	2,374,824	2,385,514
無形固定資産		
ソフトウエア	90,466	90,090
ソフトウエア仮勘定	22,187	33,952
その他	0	0
無形固定資産合計	112,653	124,043
投資その他の資産		
繰延税金資産	74,927	83,890
差入保証金	153,089	149,355
その他	23,747	20,605
貸倒引当金	－	△152
投資その他の資産合計	251,764	253,698
固定資産合計	2,739,242	2,763,257
資産合計	12,519,336	11,758,148

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	323,419	526,292
短期借入金	100,000	－
１年内返済予定の長期借入金	480,108	426,728
未払金	746,808	508,489
未払法人税等	86,424	38,308
未払消費税等	80,035	－
契約負債	352,354	343,605
その他	176,875	85,311
流動負債合計	2,346,026	1,928,735
固定負債		
長期借入金	607,530	407,706
繰延税金負債	－	1,868
その他	29,562	29,658
固定負債合計	637,092	439,233
負債合計	2,983,119	2,367,969
純資産の部		
株主資本		
資本金	696,450	696,450
資本剰余金	812,570	812,570
利益剰余金	9,163,211	9,017,173
自己株式	△1,136,014	△1,136,014
株主資本合計	9,536,216	9,390,178
純資産合計	9,536,216	9,390,178
負債純資産合計	12,519,336	11,758,148

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	5,550,795	5,210,721
売上原価	1,846,038	1,805,377
売上総利益	3,704,756	3,405,343
販売費及び一般管理費	※ 3,447,163	※ 3,376,829
営業利益	257,593	28,514
営業外収益		
受取利息	858	2,562
受取賃貸料	414	414
還付加算金	7	233
助成金収入	4,026	510
その他	1,795	1,807
営業外収益合計	7,102	5,527
営業外費用		
支払利息	8,715	7,157
減価償却費	3,785	－
その他	96	112
営業外費用合計	12,597	7,270
経常利益	252,097	26,771
特別損失		
固定資産売却損	0	－
固定資産除却損	215	4,402
特別損失合計	215	4,402
税金等調整前中間純利益	251,882	22,368
法人税、住民税及び事業税	39,752	24,241
法人税等調整額	24,152	△7,094
法人税等合計	63,905	17,147
中間純利益	187,976	5,221
親会社株主に帰属する中間純利益	187,976	5,221

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	187,976	5,221
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	－	－
中間包括利益	187,976	5,221
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	187,976	5,221
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	251,882	22,368
減価償却費	91,147	92,731
引当金の増減額（△は減少）	1,607	△1,919
受取利息及び受取配当金	△858	△2,562
助成金収入	△4,026	△510
支払利息	8,715	7,157
固定資産売却損益（△は益）	0	－
固定資産除却損	215	4,402
売上債権の増減額（△は増加）	118,453	325,763
棚卸資産の増減額（△は増加）	△201,819	△382,296
仕入債務の増減額（△は減少）	249,293	202,872
未払債務の増減額（△は減少）	△59,898	△171,885
未払又は未収消費税等の増減額	△224,121	△120,232
その他	69,984	△131,988
小計	300,573	△156,097
利息及び配当金の受取額	858	2,261
利息の支払額	△9,499	△6,742
助成金の受取額	6,955	510
法人税等の還付額	2,247	1,347
法人税等の支払額	△55,305	△69,317
営業活動によるキャッシュ・フロー	245,830	△228,038
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△46,768	△122,497
無形固定資産の取得による支出	△30,925	△63,041
長期前払費用の取得による支出	△3,790	－
差入保証金の差入による支出	△4	△319
差入保証金の回収による収入	42,677	4,216
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,811	△181,643
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△300,000	△100,000
長期借入れによる収入	200,000	－
長期借入金の返済による支出	△316,480	△253,204
配当金の支払額	△151,172	△151,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	△567,652	△504,347
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△360,632	△914,029
現金及び現金同等物の期首残高	4,743,538	5,684,507
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,382,905	4,770,477

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

連結子会社においては、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（中間連結損益計算書に関する注記）

※　販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
給料手当	878,814千円	876,293千円
販売促進費	646,342	614,835
荷造運送費	309,424	301,359
広告宣伝費	480,737	472,050
減価償却費	58,515	64,182

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自2025年４月１日　至2025年９月30日）及び当中間連結会計期間（自2026年４月１日　至2026年９月30日）

当社グループは、化粧品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（当中間連結会計期間における連結範囲の重要な変更に関する注記）

（連結範囲の重要な変更）

当社は、当中間連結会計期間において、当社を存続会社、当社の連結子会社であったハーバーコスメティクス株式会社を消滅会社とする吸収合併を行ったため、ハーバーコスメティクス株式会社を連結の範囲から除外しております。

（企業結合等関係）

（共通支配下の取引等）

当社は、2025年11月14日開催の取締役会において、当社の100％出資連結子会社であるハーバーコスメティクス株式会社を吸収合併することを決議し、2026年４月１日をもって吸収合併いたしました。

（１）取引の概要

①結合当事企業の名称及び事業の内容

結合当事企業の名称 ハーバーコスメティクス株式会社

事業の内容 商品の梱包、配送請負業務

②企業結合日

2026年４月１日

③企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、ハーバーコスメティクス株式会社を消滅会社とする吸収合併

④結合後企業の名称

株式会社ハーバー研究所

⑤その他取引の概要に関する事項

当社グループにおける化粧品及び健康食品の物流から販売までの業務運営を一層効率化し、経営基盤を強化するとともに経営資源を有効活用することを目的として、ハーバーコスメティクス株式会社を吸収合併することといたしました。

（２）会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年１月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2024年９月13日）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。